

最近の朝鮮半島情勢

2013. 4. 23

1) 軍事演習と対決姿勢

- 2. 1 2 第3回核実験
- 3. 1 フォール・イーグル開始
- 3. 5 金英哲偵察総局長、人民軍最高司令部報道官声明を公表、休戦協定白紙化
- 3. 7 国連安保理、制裁決議採択
- 3. 7 外務省報道官声明、核先制攻撃の権利、米国直接攻撃主張
- 3. 8 祖国平和統一委員会、南北不可侵合意、非核化協定の破棄を表明
- 3. 9 外務省報道官声明、制裁決議完全拒否、核保有国をめざす表明
- 3. 1 1 ドニロン大統領補佐官、対北朝鮮政策4原則
 - 米日間協力と中国協調、北の悪い行為に対応しない、防衛約束再確認、既存の約束遵守するなら交渉の用意
- 3. 1 3 オバマ大統領、ABC放送で核実験とミサイル発射中断で対話可能と表明
- 3. 1 5 短距離ミサイル2発試射
- 3. 1 6 外務省報道官談話、
- 3. 1 8 カーター国防副長官、B52爆撃機グアムから出撃と表明
- 3. 2 0 外務省報道官、「耐え難い挑発」
- 3. 2 1 朝鮮中央通信、空襲警報を6回
- 3. 2 1 人民軍報道官、戦略爆撃機や原子力潜水艦について「実働核攻撃訓練」とし「相応の軍事的行動」表明
- 3. 2 2 わが民族同士、「統一大戦は3日で勝利する」動画掲載
- 3. 2 4 韓国軍、局地的挑発に関する米軍との作戦計画を策定書名、在日米軍投入
- 3. 2 5 北朝鮮、上陸・対上陸軍事演習実施、金正恩司令官指導
- 3. 2 6 人民軍最高司令部報道官声明、一号戦闘勤務態勢、南の前執権者売国行為継続を許さないと表明

2) 開城工業団地の危機

- 3. 2 7 南北将官級会談北側代表、電話通知文で通信連絡所の活動停止を通告
- 3. 2 8 在韓米軍、ステルスB2爆撃機の爆弾投下訓練公表
- 3. 2 9 金正恩司令官が人民軍戦略ロケット軍作戦会議を緊急招集、射撃待機状態指示
- 3. 2 9 韓国軍、ミグ21が軍事境界線付近で威嚇飛行と発表
- 3. 3 0 朝鮮政府・政党・団体特別声明、南北は戦時状況
- 3. 3 0 中央特区開発指導総局報道官談話、南メディアが冒とく、閉鎖もありうる
- 3. 3 1 労働新聞、横須賀・三沢・沖縄などは射程範囲内と論評
- 3. 3 1 F22ステルス、烏山基地に到着、2日に公開予定だったが中止に

- 4. 1 米国、イージス艦フィッツジェラルド、海上配備型早期警戒レーダーXバンドレーダー朝鮮半島近海へ
- 4. 2 原子力総局報道官、自立的原子量工業発展と核兵器拡大方針を表明、原子炉再稼働宣言
- 4. 2 ケリー国務長官・尹炳世外交部長官、ワシントンで会談
- 4. 3 国防総省、最新鋭地上配備型迎撃ミサイルをグアムに配備
- 4. 3 開城工業団地、入境禁止に
- 4. 4 連合ニュース、ミサイルを日本海側移送中と報道
- 4. 4 朝鮮人民軍総参謀部報道官談話、小型化・軽量化・多様化された核兵器をアピール
- 4. 5 カーニー報道官、見慣れた図式であり驚かないとコメント
- 4. 5 北朝鮮、平壤外国公館に退避勧告
- 4. 7 金英哲総局長、再度退避勧告
- 4. 8 金養建党書記談話、開城から全従業員撤収
- 4. 9 米軍化学大隊、ソウル近郊で隊旗掲揚式
- 4. 9 朝鮮アジア太平洋平和委員会、朝鮮半島は戦争前夜で韓国にいる外国人は退避すべきだと呼びかけ
 - ☆CNN、北朝鮮を米国の差し迫った脅威と見る国民が1か月で13%増え41%に達したと報道（4. 8）

3) 変化の兆し

- 4. 9 ロックリア米太平洋軍司令官、日米間を狙ったものでなければミサイル迎撃しないと上院軍事委員会公聴会で証言
- 4. 9 『フォーリン・ポリシー』電子版、3月にニューヨークで米朝接触と報道
- 4. 10 韓国政府、3月20日のサイバー攻撃を北朝鮮の仕業と断定
- 4. 11 米下院軍事委員会に国防情報局（D I A）報告書、北朝鮮は小型化に成功したが精度は低いと評価
- 4. 11 ヘーゲル国防長官、米本土には到達しないとの見解
- 4. 11 柳吉在統一部長官、声明で対話呼びかけ
- 4. 11 中央特区開発指導総局報道官、朴槿恵政権を李明博政権と区別
- 4. 12 ケリー国務長官訪韓、外相会談、共同声明は未明にずれ込み
- 4. 12 朝鮮人民軍総参謀部報道官、サイバー攻撃を否定
- 4. 12 カーニー報道官も小型化否定
- 4. 13 ケリー長官訪中
- 4. 14 ケリー長官訪日
- 4. 14 祖国平和統一委員会報道官、対話ができるかどうかは韓国当局次第

- 4. 1 6 オバマ大統領も小型化否定
- 4. 1 6 人民軍最高司令部報道官「最終通牒文」、予告の無い報復行動開始
- 4. 1 6 外務省報道官談話、米国が核戦争演習をやめなければ自衛的対応表明
- 4. 1 7 北朝鮮、開城への食糧搬入拒否
- 4. 1 8 国防委員会政策局声明、対話に条件提示 ①国連安保理決議撤回、②米韓合同軍事演習を中止し今後も実施しない、③朝鮮半島周辺の核戦争手段撤回
- 4. 2 2 米韓、浦項での合同軍事演習を公開
- 4. 2 2 朝鮮新報、米朝が核保有国の対等な立場で戦争終結の談判をするしかない

4) 並進路線

- 3. 1 8 全国軽工業大会
- 3. 3 1 朝鮮労働党中央委員会総会、経済建設と核武力建設の並進路線を採択
朴奉洙を政治局委員、玄永哲・金格植を候補委員に
- 4. 1 最高人民会議第12期第7回会議、核保有法、朴奉洙首相返り咲き、国防委員に金格植・崔富一
- 4. 1 2 原子力総局が格上げされ原子力工業省に
- 4. 2 2 内閣全員会議拡大会議開催
☆ 金正恩を支える影の実力者に金雪松

5) 東北アジア平和と非核化に向けた考え方

金大中・盧武鉉政権以降の考え方

平和共存、共同利益形成で平和定着を進め平和体制へと至る

↓

北朝鮮の核保有国宣言と既成事実化

平和体制実現がどのように可能か～平和に向けたプログラムの論議が求められている

政策的側面

市民社会的側面

- 3. 2 7 日本政府与党。制裁措置延長を決定
- 4. 5 閣議で2年延長を正式決定